昇 降 式 移 動 足 場
『アップスター４２』取扱説明書

平成　２１年　１２月

日鐵住金建材株式会社

目次

使用基準 ---------- 1

仕様 ---------- 2

アップスター取付手順 ---------- 3

組立手順 ---------- 4

解体手順 ---------- １０

アップスター分離手順 ---------- １３

メンテナンス ---------- １４

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

使用基準

１．アップスターを使用するにあたって

（１）作業者には、あらかじめ安全な使用についての教育を行うこと。
（２）複数の人数で使用するときは、作業を指揮する者を選任し、その者に作業を指揮させること。
（３）手摺、中桟等を止むを得ず取り外したときは、安全帯の使用等墜落による作業者の危険を防止するための措置を講ずること。なお、取り外した手摺等は、その必要がなくなったとき速やかに元の状態に戻すこと。
（４）作業中は保護帽を着用すること。また安全帯の使用を命ぜられた場合は、安全帯を使用すること。
（５）作業中に関係者以外の者が、作業区域内に立ち入ることによる危害を防止するため、その周辺には柵、囲い又は標識等により立ち入り禁止区域を明示すること。
（６）作業を安全に行うため、作業に必要な照度を確保すること。
（７）作業床上では、脚立、梯子等を使用して作業しないこと。
（８）複数のアップスターを併置し、その上に足場板等を掛け渡して作業床として使用しないこと。
（９）目的外の用途には使用しないこと。

２．アップスターの取付、分解にあたって

（１）みだりに取付・分解を行わないこと。
（２）アップスター３６とベースフレームは取り付け部のクランプで確実に緊結すること。

３．アップスターの移動にあたって

（１）原則として作業床を最低の高さに下降させた後に行うこと。
（２）作業者を乗せたまま行わないこと。
（３）あらかじめ、床面の凹凸、障害物等の状態を確認し、移動中の転倒を防止すること。

４．アップスターの設置にあたって

（１）平坦かつ水平な場所で使用すること。
（２）不意の移動を防止するためブレーキ、アウトリガー又はジャッキ等を確実に使用すること。

５．アップスターに荷を積載する等にあたって

（１）最大積載荷重の表示を確認し、これを超えないこと。
（２）材料等を載せるときは、転倒防止のため偏心しないように配慮すること。
（３）手摺・巾木等に荷を載せないこと。

禁止

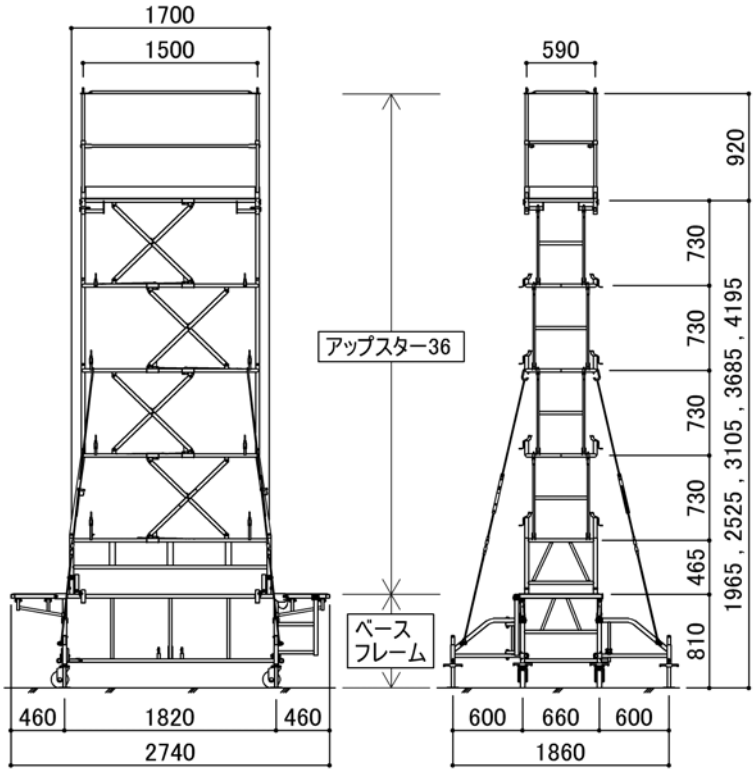
１．積載荷重以内で使用して下さい。
２．移動・転倒防止のため、車輪はすべてブレーキを効かせ、アウトリガーを必ず正規の方向に広げて使用して下さい。
３．人を乗せたまま、移動させないでください。
４．上昇・下降時に、摺動部等に触れないで下さい。

作業の省力化・効率的に最適な昇降式移動足場アップスター

高所作業から天井仕上げ作業まで、あらゆる作業に適した高さが、簡単に・能率的にかつ安全に確保できます。軽量で強靭性に優れた昇降式移動足場です。

仕様

作業床寸法	巾	５９０ ｍｍ
	長さ	１５００ ｍｍ
作業床高さ最低		１９６５ ｍｍ
最高		４１９５ ｍｍ
高さ調節 5 段階		４１９５ ｍｍ
		３６８５ ｍｍ
		３１０５ ｍｍ
		２５２５ ｍｍ
		１９６５ ｍｍ
自重		約 ２６０ ｋｇ
		（手摺・巾木を含む）
駆動装置		手動式
		（バネバランス方式）
積載荷重		１３１０Ｎ（１３３ｋｇｆ）
		（作業者を含む）
表面処理		溶融亜鉛めっき
		（一部電気めっき）



品番

ＵＳ－４２Ｓ　（手摺柱、ジャッキ付ゴム製キャスタータイプ）
ＵＳ－４２ＳＲ　（手摺枠、ジャッキ付ゴム製キャスタータイプ）
ＵＳ－４２ＳＡ　（手摺枠、ジャッキ無ウレタン製キャスタータイプ）
ＵＳ－４２ＳＵ　（手摺柱、ジャッキ付ウレタン製キャスタータイプ）
ＵＳ－４２ＳＲＵ　（手摺枠、ジャッキ付ウレタン製キャスタータイプ）

使用工具

ラチェットレンチ(2 面幅 17mm)

アップスター３６をベースフレームに取付、または分離する際に使用します。

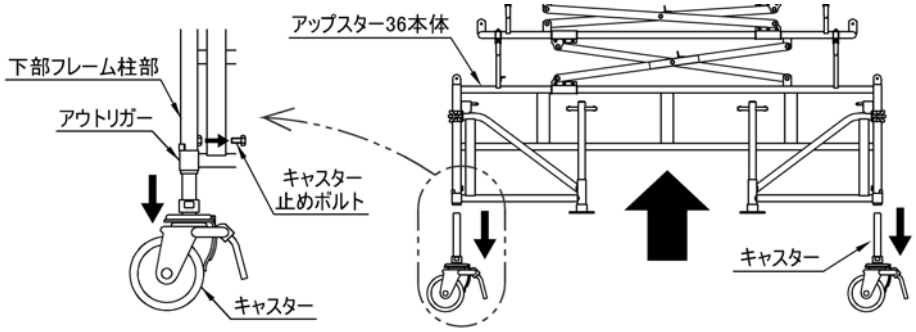
アップスター取付手順

（1）アップスター３６のキャスター、アウトリガーの取り外し

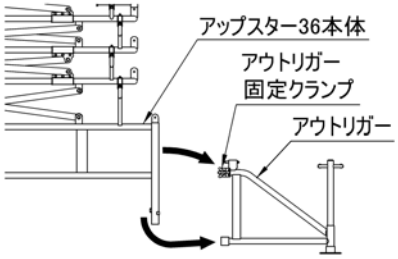
① アップスター３６は最低の高さにして作業します。

② アップスター３６の下部フレーム柱部からキャスター止めボルト(４ヶ所)を取り外します。

③ リフトまたはクレーン等にてアップスター３６を持ち上げ、キャスターを取り外します。



④ アウトリガー固定クランプを外し、アウトリガーを取り外します(４ヶ所)。



⚠注 意

③で取り外したキャスター止めボルト､および⑤で取り外したアウトリガーは使用しません。また､既にベースフレームにキャスターが取付済みの場合は④で取り外したキャスターも使用しません。アップスター３６に戻す際に使用しますので保管しておいて下さい。

アップスター３６にキャスター止めボルトが付いている状態では、ベースフレームに干渉するため取り付けできません。

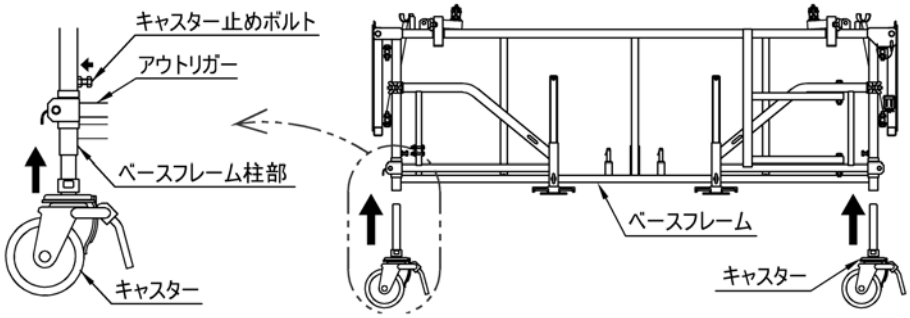
（2）キャスターの取り付け

① キャスターのブレーキが掛かっていることを確認します。

② ベースフレームのキャスター止めボルト(４ヶ所)を緩め、ベースフレームを持ち上げます。

③ キャスターを差し込み、キャスター止めボルトを締め付けます。

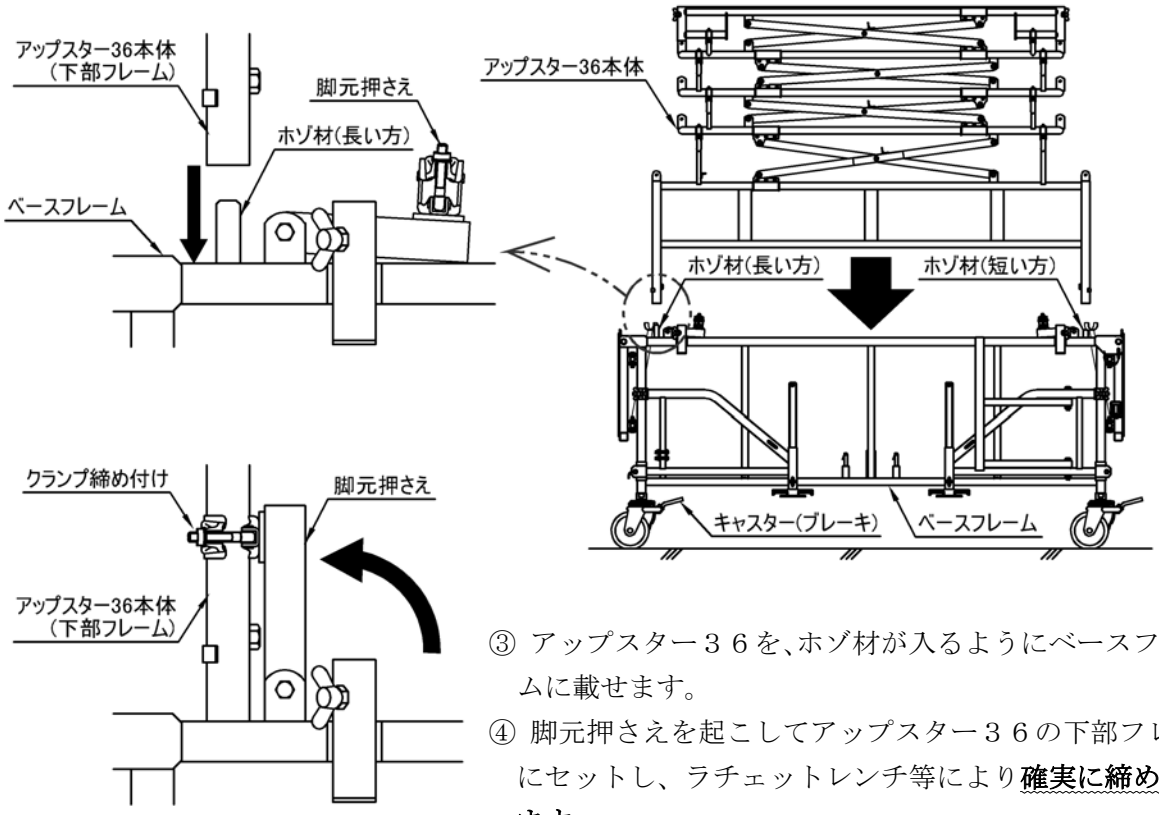
④ ベースフレームを降ろします。



（3）アップスター本体の取り付け

① リフトまたはクレーン等にてアップスター３６を持ち上げます。

② ベースフレームをアップスター３６の下へ移動させます。この時、ホゾ材(長い方)にてベースフレームの位置を調整します。



③ アップスター３６を､ホゾ材が入るようにベースフレームに載せます。

④ 脚元押さえを起こしてアップスター３６の下部フレームにセットし、ラチェットレンチ等により**確実に締め付けます。**

（４）手摺および巾木の収納

ａ．手摺柱タイプの場合

手摺柱、手摺材、巾木をベースフレームに収納します。

ｂ．手摺枠タイプの場合

手摺枠および妻面巾木をベースフレームに収納します。

収納方法は１１ページの解体手順（７）手摺および巾木の収納をご参照下さい。

以上で取付完了です。

組立手順

１．組立前の注意事項

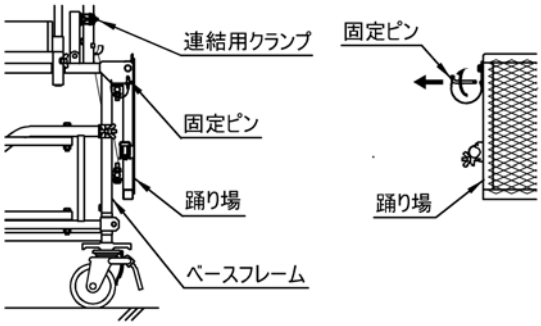
（１） 組立作業主任者は、作業員の保護帽着用等、安全服装を確認のうえ、作業内容、安全上の諸注意を説明し徹底させます。

（２） 使用場所の平坦度及び、上空空間の安全性を確認し、使用高さ（１９６５，２５２５，３１０５，３６８５，４１９５mm）を決定します。

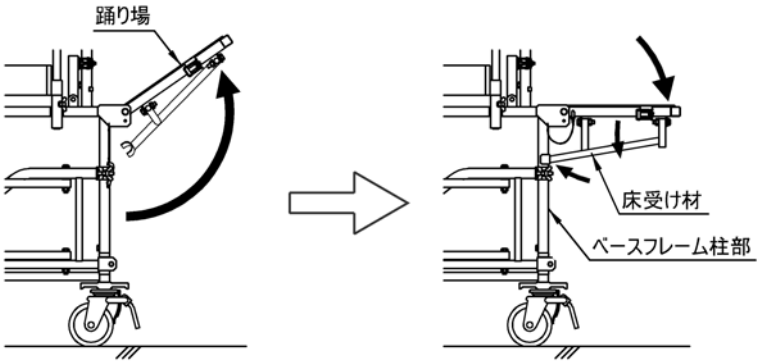
2．組立手順

（1）踊り場のセット

① 固定ピンを回転させ抜きます。

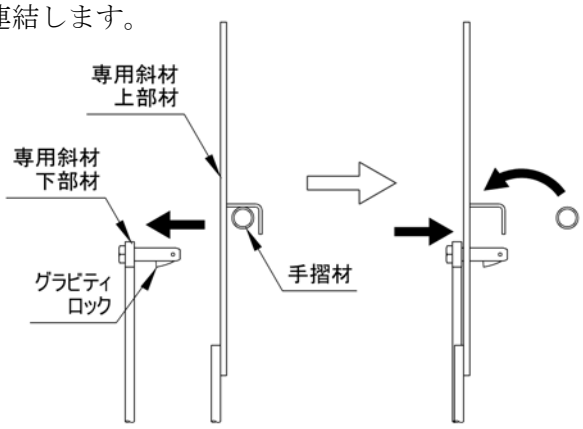


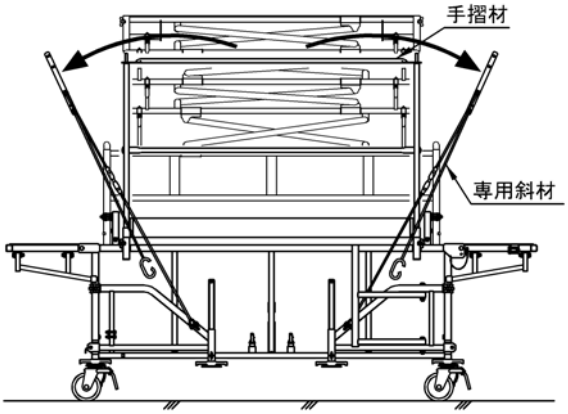
② 踊り場を水平より上に持ち上げ、床受け材を下方へ回転させます。踊り場を下げ、床受け材の先端がベースフレームの柱部に掛かるようにセットします。



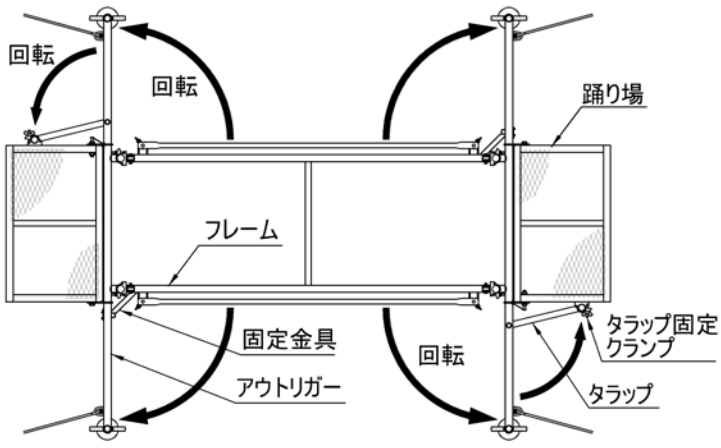
（2）アウトリガーおよびタラップのセット

① 専用斜材の下部材を上部材から一旦取り外します。上部材を手摺材より取り外し、再度下部材と連結します。





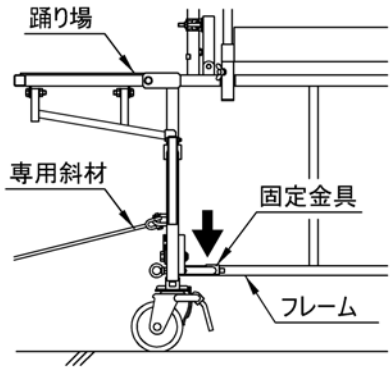
② アウトリガーをアップスターの長手方向と直角になるよう回転させます。

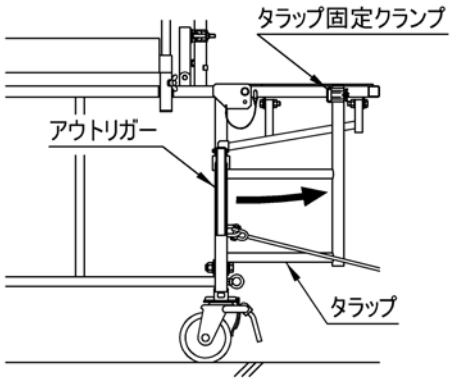


⚠注 意

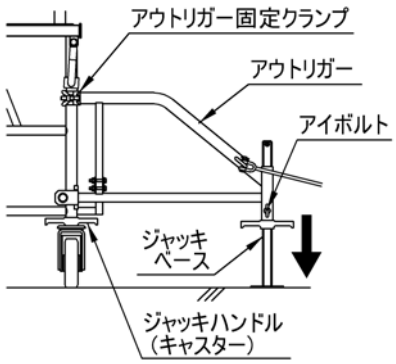
アウトリガーは、必ず下図の方向にて使用して下さい。

③ タラップを回転させ、踊り場のタラップ固定クランプにて緊結します。
タラップはアウトリガーの固定を兼ねています。
タラップのない側は、所定の位置にて固定金具が自動的にセットされます。





④ アウトリガー固定クランプを確実に締め付け固定します。
⑤ アップスター本体が水平となるようにキャスターのジャッキハンドルにて調節します(ジャッキ付キャスタータイプのみ)。
⑥ アウトリガーのジャッキベースを接地させ、ハンドルにて高さを調節します。

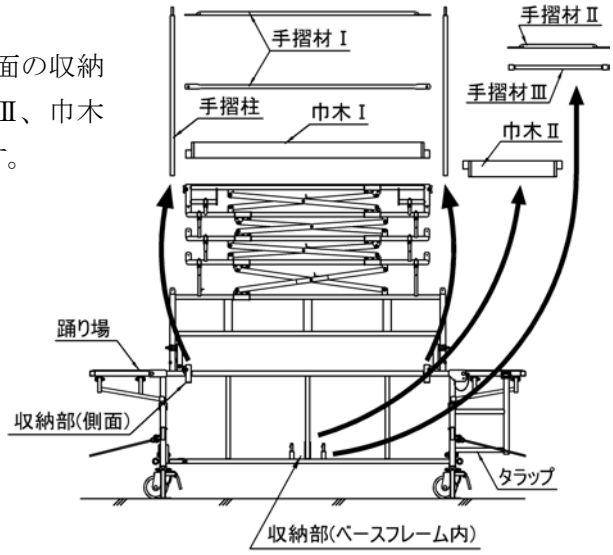


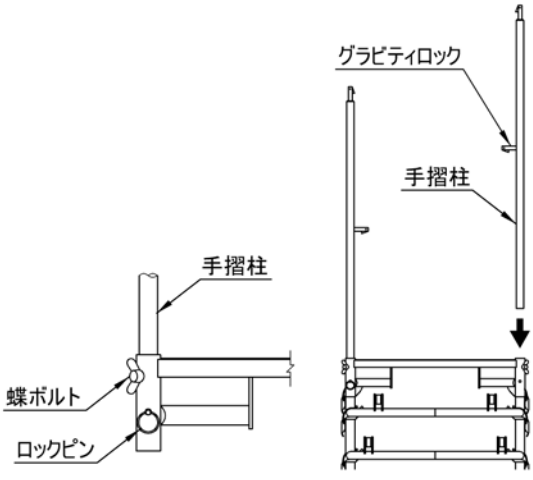
> ⚠注 意
> アウトリガーは転倒防止を目的としています。

（3）手摺および巾木のセット

a．手摺柱タイプの場合

① 巾木Ⅰ、手摺材Ⅰ、手摺柱をベースフレーム側面の収納部より取り外します。また、手摺材Ⅱ、手摺材Ⅲ、巾木Ⅱをベースフレーム内の収納部より取り外します。

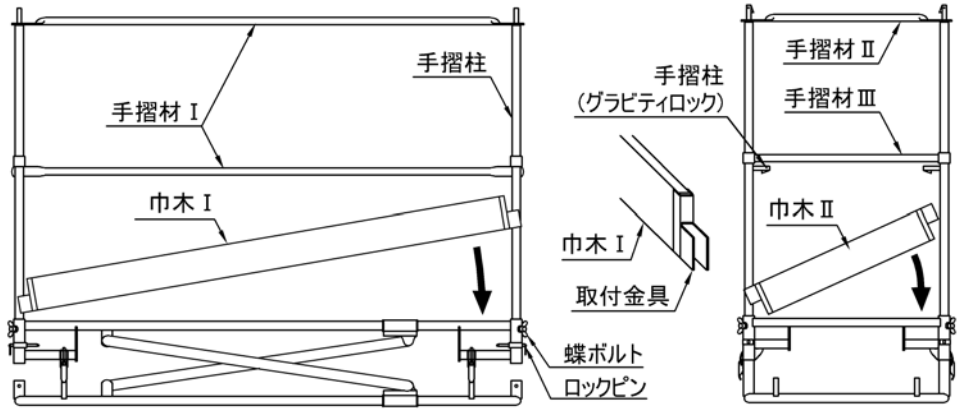




② 組立作業は踊り場上にて行います。
手摺柱を、グラビティロックが内側を向くように上部フレーム四隅のパイプに差し込み、ロックピンで固定します。

③ 妻面の手摺材Ⅲ（メガネタイプ）を手摺柱に差し込み、続いて手摺材Ⅱを取付けます。最後に手摺材Ⅰを４本（上桟・中桟）セットします。

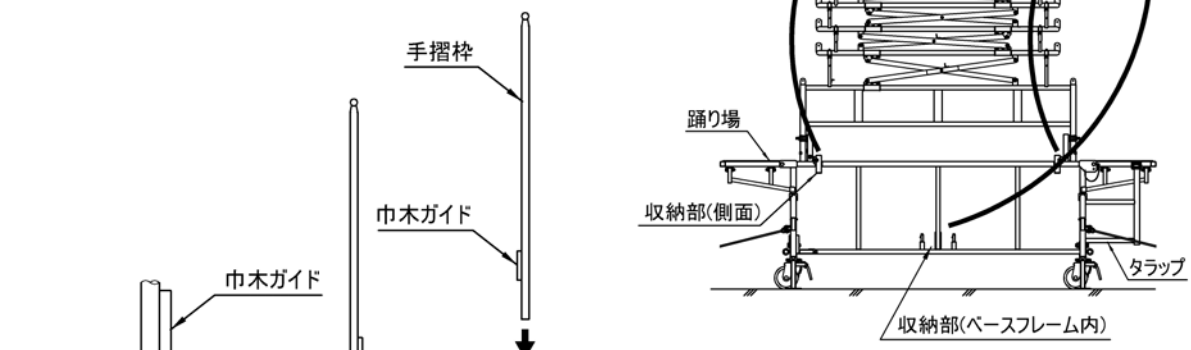
④ 巾木Ⅰ(長い方)を取付金具が下側となるよう取り付けます(フラット面が外側)。続いて巾木Ⅱ（短い方）を取り付けます。

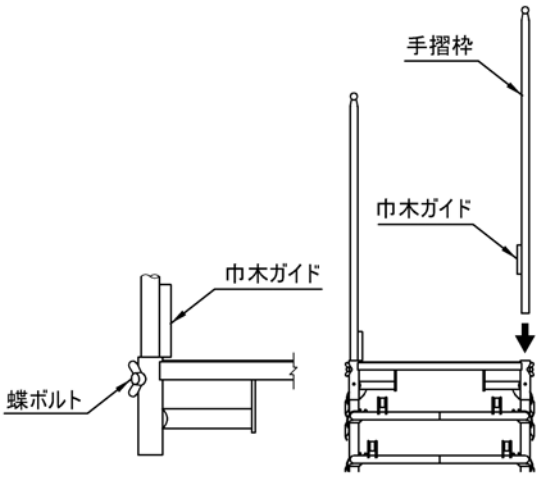


⑤ 巾木の設置完了後、各手摺柱（４本）の蝶ボルトを確実に締め付け、手摺の揺れを防止して下さい。

ｂ．手摺枠タイプの場合

① 手摺枠をベースフレーム側面の収納部より取り外します。また、妻面巾木をベースフレーム内の収納部より取り外します。





② 組立作業は踊り場上にて行います。
手摺枠を、巾木ガイドが内側を向くように上部フレーム四隅のパイプに差し込みます。

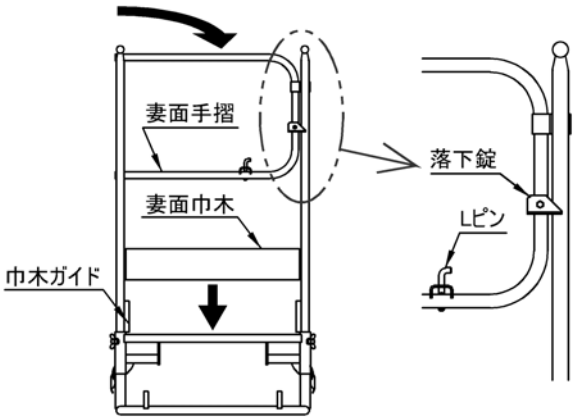
③ 妻面手摺は手摺枠に収納されています。固定用のＬピンを上げ、妻面手摺を手前に回転させます。落下錠が手摺枠に当たりロックが掛かります。
この時、妻面手摺が内開きになっていることを確認して下さい。

⚠注 意

手摺枠の方向を逆に差し込まないで下さい。逆にした場合、妻面手摺に荷重を掛けた際に妻面手摺が作業床の外側に外れ、大変危険です。

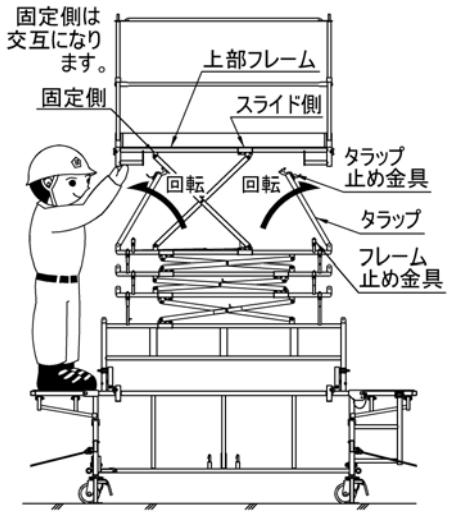
④ 妻面巾木を巾木ガイドに取り付けます（フラット面が外側）。

⑤ 巾木の設置を完了後、各手摺柱（４本）の蝶ボルトを確実に締め付け、手摺枠の揺れを防止して下さい。



（４）１段目の上昇

① １段目のフレーム止め金具（桁行き方向に左右各２個所）を外し、上部フレーム（床面）を持ち上げて下さい。（バネが内蔵されておりますので、軽く持ち上がる様になっております。）

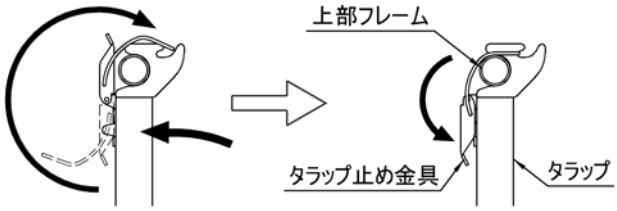


⚠注 意

上昇（下降）作業は、スライド枠の固定側（「操作時は必ずここを持って下さい」シール貼付側）にて作業して下さい。

上記シールの反対側にて作業を行いますとスライド枠が変形する恐れがあります。

② 本体内側に折り畳んだ左右のタラップを起こし、上部フレームの横地に合わせ、先端のタラップ止め金具（左右２個所）にセットします。



（５）２段目の上昇

１段目と同様にフレーム止め金具（桁行き方向に左右各２個所）を外し、フレームを持ち上げ左右のタラップを起こし、タラップ先端のタラップ止め金具をセットします。

⚠注 意

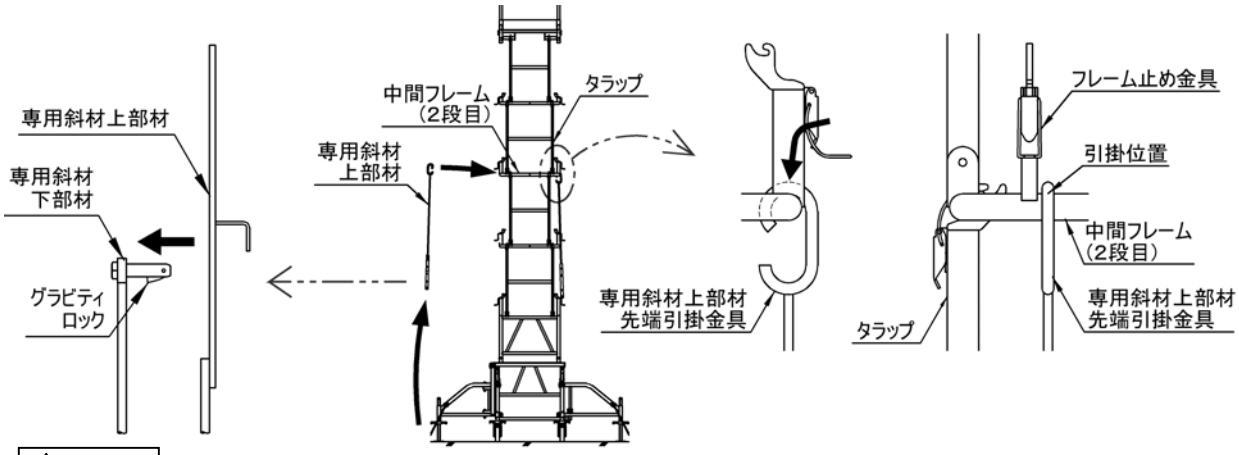
上昇（下降）作業は、スライド枠の固定側（「操作時は必ずここを持って下さい」シール貼付側）にて作業して下さい。固定側は、上の段の反対側となります。

（６）３、４段目の上昇

２段目と同様に操作します。

（7）専用斜材の設置

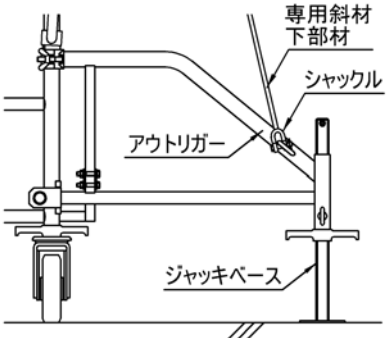
① 専用斜材上部材を下部材のグラビティロックより取り外し､反対側先端の引掛金具を中間フレーム(２段目)のフレーム止め金具基部に掛けます。

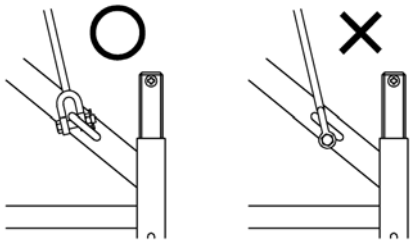


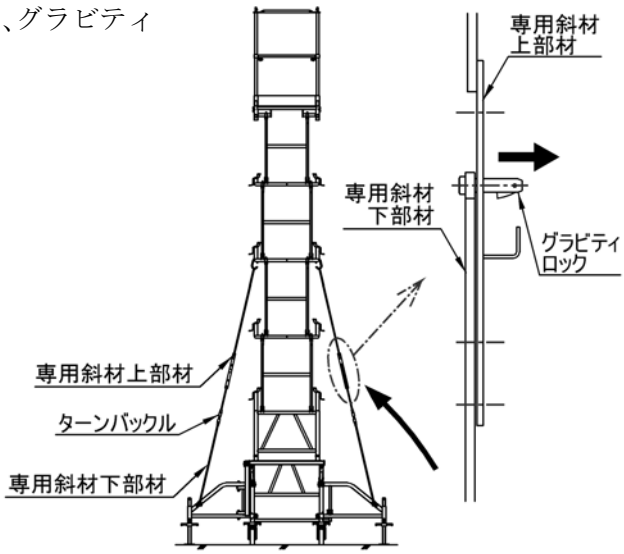
⚠注 意

専用斜材は揺れ防止を目的としています。

② 下部材の長さをターンバックルにより調節し､グラビティロックを上部材の元の穴位置に接続します。







③ 下部材のシャックルを、左○印図のように方向を合わせます。

④ ターンバックルにより専用斜材を手締めにて軽く緊張させます。４ヶ所共に緊張させて下さい。

⚠注 意

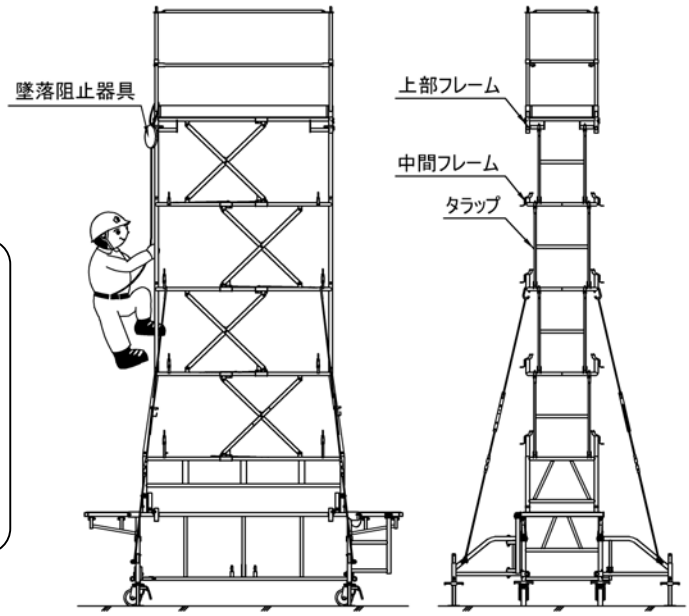
下部材のシャックルを上○印図以外(×印図等)の位置で緊張させると専用斜材が破損する恐れがあります。

また、斜材は工具等で強く締め付けないで下さい。過度に緊張させると専用斜材が破損する恐れがあります。

以上で組立完了です。

（8）作業床への昇降

作業床への昇降にはタラップを利用し、リトラクタ式墜落阻止器具等を使用して下さい（落下阻止器具は手摺柱の根元付近に取り付けて下さい)。



⚠注 意

昇降の際は、必ず車輪 4 点に荷が掛かっていること、アップスター本体が水平になっていること、アウトリガーが確実に固定された状態でジャッキベースが地面（躯体）についていること等を確認した後に行なって下さい。

（9）横移動

① 原則として専用斜材を中間フレームから取り外し､作業床を最低の高さまで下げてからアウトリガーのジャッキベースを上げます。

② 必要に応じ、アウトリガーのクランプを緩めタラップおよびアウトリガーを折り畳みます。

③ キャスターのブレーキを解除して所定の位置に移動します。

⚠注 意

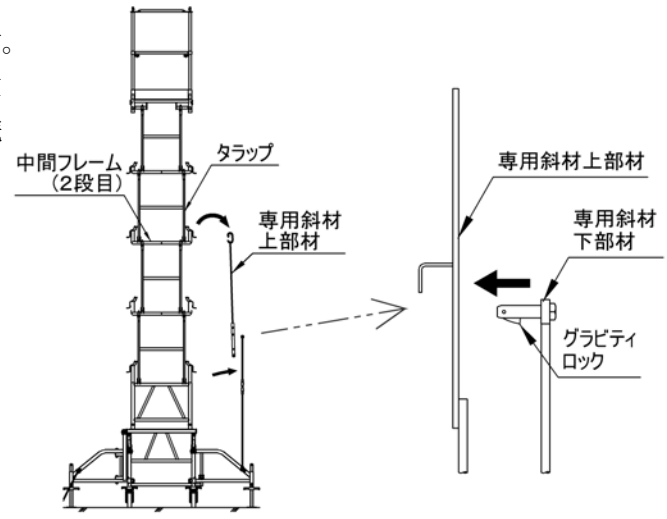
横移動される場合は、天井等、上空空間の安全性を確認して行って下さい。
また、人を乗せたまま、移動させないで下さい。
上昇・下降時に、摺動部等、受け金具等に触れないで下さい。指詰め等の危険があります。

解体手順

（1）専用斜材の取り外し

① 専用斜材のターンバックルを緩め､下部材のグラビティロックを上部材より取り外します。

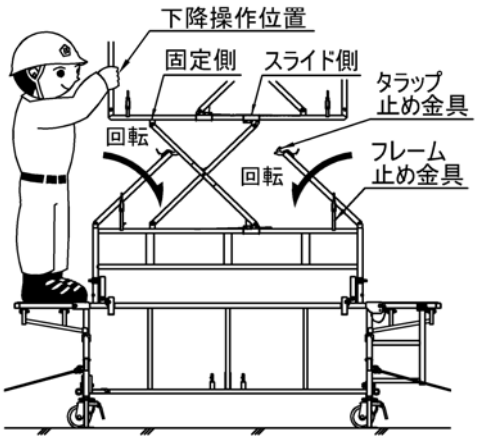
② 上部材を中間フレームから取り外し､元の穴に下部材のグラビティロックを差し込み接続します。



（4） 4段目の下降

① 最下段のタラップ止め金具を外し内側へ折り畳み、フレームの「操作時は必ずここを持って下さい」シール貼付側のタラップ部を持って下降させます。

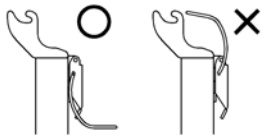
② フレーム止め金具を確実にセットします。



⚠注 意

上昇（下降）作業は、スライド枠の固定側（「操作時は必ずここを持って下さい」シール貼付側）にて作業して下さい。上記シールの反対側にて作業を行いますとスライド枠が変形する恐れがあります。

フレームを下降させる際に、フレーム止め金具が上を向いていない事を確認して下さい。



（5） 3、2段目の下降

4段目と同様に操作します。

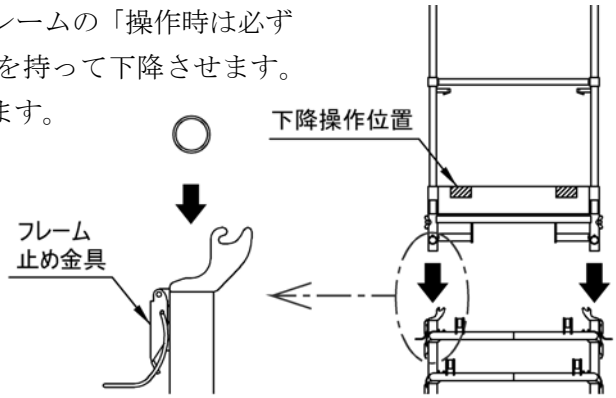
⚠注 意

上昇（下降）作業は、スライド枠の固定側（「操作時は必ずここを持って下さい」シール貼付側）にて作業して下さい。固定側は、下の段の反対側となります。

（6） 1段目(作業床)の下降

タラップ止め金具を外し内側へ折り畳み、フレームの「操作時は必ずここを持って下さい」シール貼付側の巾木上部を持って下降させます。

下降後は、フレーム止め金具を確実にセットします。



（7） 手摺および巾木の収納

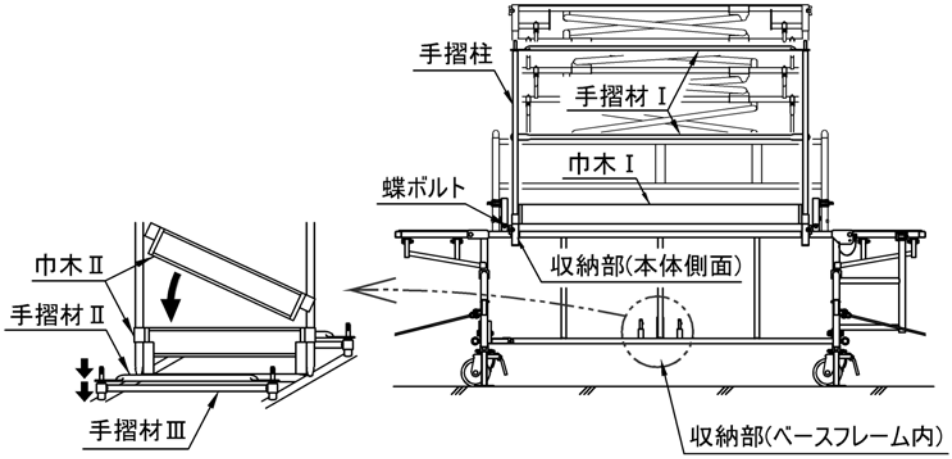
a． 手摺柱タイプの場合

① 巾木、手摺材、手摺柱を上部フレームより取り外します。

② 手摺柱を本体側面の収納部に差し込み、手摺材Ⅰ、巾木Ⅰを手摺柱の間に収納します。

③ 巾木の収納完了後、収納部（4ヶ所）の蝶ボルトを確実に締め付け、手摺柱の抜け、および揺れを防止して下さい。

④ 手摺材Ⅲ（メガネタイプ）、手摺材Ⅱ、巾木Ⅱをベースフレーム内部に収納します。



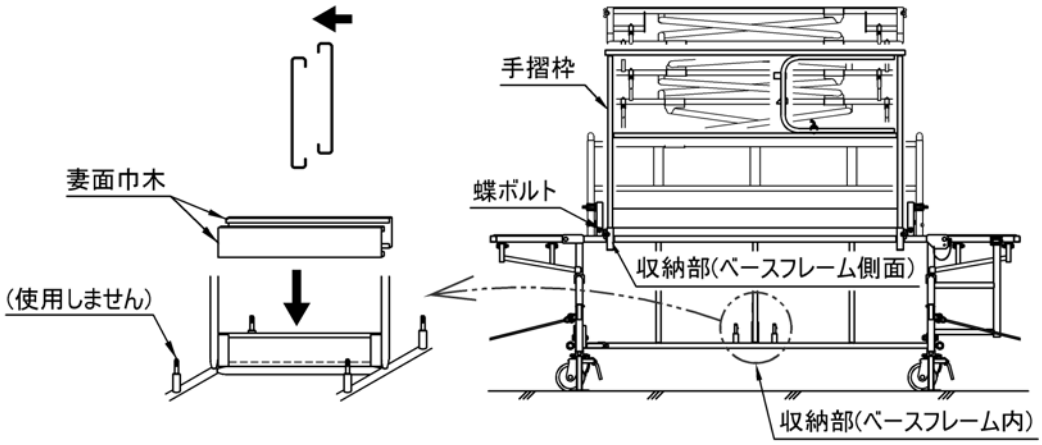
b．手摺枠タイプの場合

① 妻面巾木、手摺枠を上部フレームより取り外します。

② 手摺枠をベースフレーム側面の収納部に差し込みます。

③ 巾木の収納完了後、収納部（４ヶ所）の蝶ボルトを確実に締め付け、手摺枠の抜け、および揺れを防止して下さい。

④ 妻面巾木２枚を重ね、ベースフレーム内部に収納します。

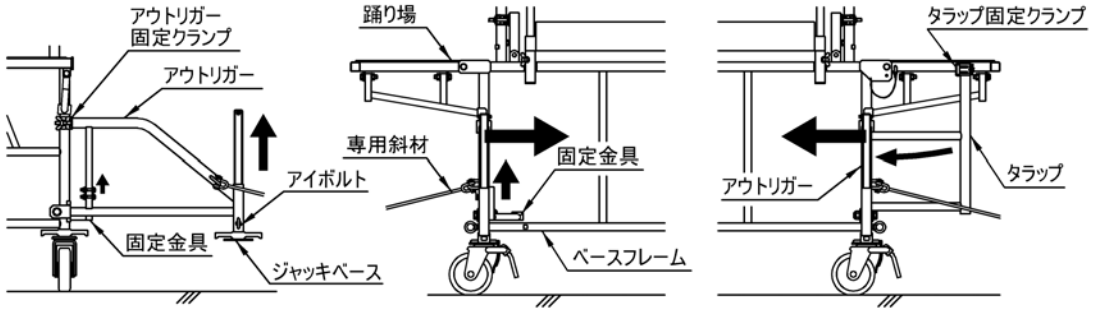


（８）手摺および巾木の収納

① アウトリガーのジャッキベースを持ち上げ、アイボルトで固定します。

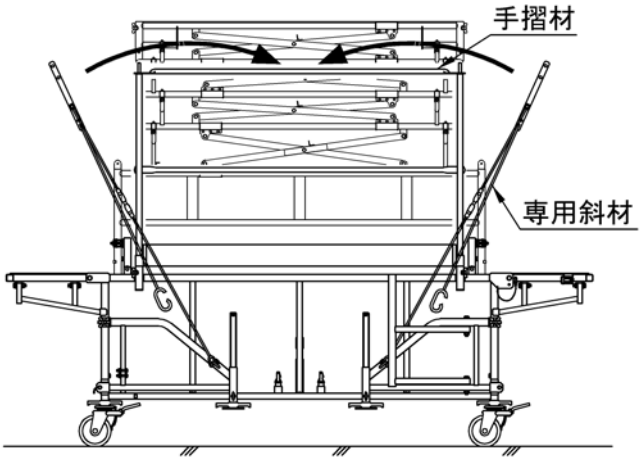
② 踊り場のタラップ固定クランプを外し、タラップを収納します。

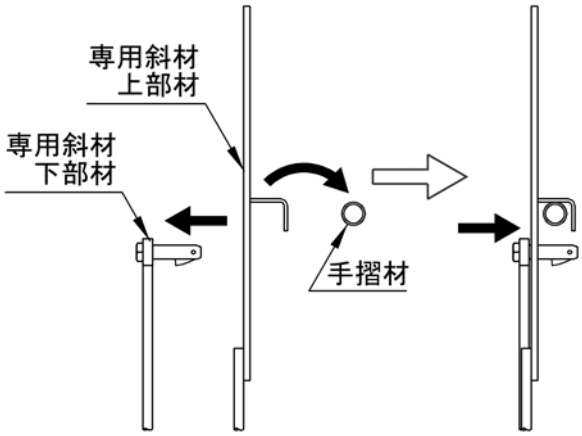
③ アウトリガー固定クランプを緩め、アウトリガーを収納します。
タラップのない側のアウトリガーは、固定金具のスライド部を持ち上げながら収納します。



（9）専用斜材、踊り場の収納

① 専用斜材上部材を下部材から一旦取り外して手摺材に掛け、下部材のグラビティロックを元の穴に接続します。この時、上部材は手摺材の中央寄りに掛け、ターンバックルを軽く効かせるようにして下さい。





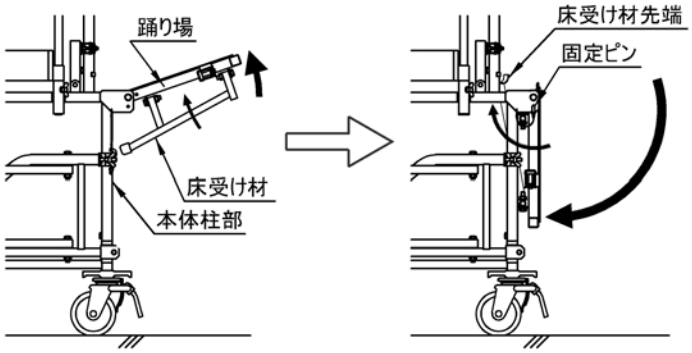
⚠注 意

専用斜材を手摺材両端のツブシ部分に掛けると、移動中に斜材が外れる恐れがあります。

② 踊り場を持ち上げます。

③ 床受け材を内側へ折り畳み、踊り場を降ろします。

④ 固定ピンを差し込み、収納完了です。



アップスター分離手順

（1）アップスターの分離

① キャスターのブレーキを掛けます。脚元押さえのクランプを緩め、アップスター３６の下部フレームから外します。

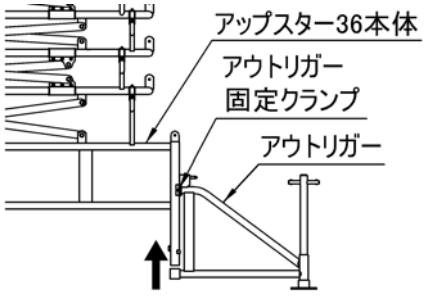
② アップスター３６をリフトまたはクレーン等にて持ち上げ、ベースフレームより取り外します。

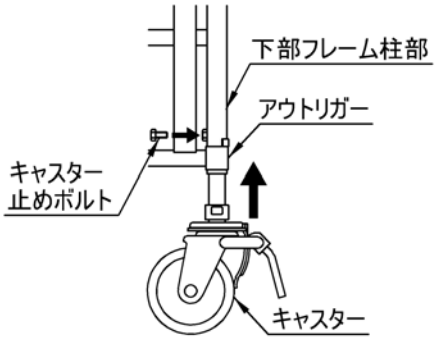
③ キャスターがアップスター３６と共用の場合は、ベースフレームのキャスター止めボルト(４ヶ所)を緩め、ベースフレームを持ち上げてキャスターを取り外します。

（2）アウトリガーおよびキャスターの取付

① アップスター３６を、リフトまたはクレーン等にて持ち上げます。

② アップスター３６用のアウトリガーを下部フレーム柱部の下から差し込み、アウトリガー固定クランプをセットして固定します（４ヶ所)。





③ キャスターを下部フレーム柱部に差し込み、アップスター３６のキャスター止めボルトを締め付けます(４ヶ所)。

④ アップスター３６を降ろします。

メンテナンス

１．日常点検

（１）使用に当たっては部材の点検を行い､不具合部は補修または交換を行った後に使用して下さい。

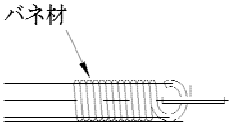
（２）バネは出荷時調整しておりますが、作動状況を確認し、動作不良の場合は下記の通り調節して下さい。

① バネを調節する必要がある段のフレームを上げ、タラップを取り付け固定します。

② バネ取り付け部の蝶ナットと内側のナットを緩めてから、蝶ナットにてバネ材の調節を行って下さい。

上昇が困難な場合：バネを引き込みます。

降下が困難な場合：バネを緩めます。



③ 内側のナットを締め付けて（緩み止め）完了します。

（３）専用斜材のターンバックルがスムーズに回転できるかを確認して下さい。困難な場合はネジ部に潤滑剤を塗布して下さい。

２．保管

（１）保管は原則として屋内保管とし、屋内保管が無理な場合は、シート等により養生して下さい。

（２）特に、回転部・スライド部の管理に注意して下さい。

以上